

農

福

連

携

推進
マニュアル



令和4年3月
愛媛県

目次

農福連携とは	3
農福連携の形態について	3,4
障害者就労施設について	5
障がい者受け入れのポイント	6
農作業の細分化について	7
作業事例	
ブロッコリーの収穫作業	8
かんきつのサンテ外し	9
枝豆の出荷調製作業	10、11
米の異物取り出し作業	12、13
にんにくの皮むき	14
農福連携関連サイトの紹介	15
農林水産研究所取組み事例紹介	15～19
相談窓口	20



農福連携とは

農福連携とは、農業者や農業法人等の「農」業分野と障がい者の就労支援に携わる社会福祉法人やNPO法人等の「福」祉分野が連携して、農業の担い手確保・労働力の確保や障がい者の工賃（賃金）の向上など、両分野の課題を解決していく取組みです。

このため、本県では農福連携を推進するため「農福連携ビジネス推進事業」により、農業者と障害者就労施設等を対象とした研修会や農業者と障害者就労施設との農作業体験マッチング、農業版ジョブコーチの育成等に取り組んでいます。



農業版ジョブコーチ育成研修会

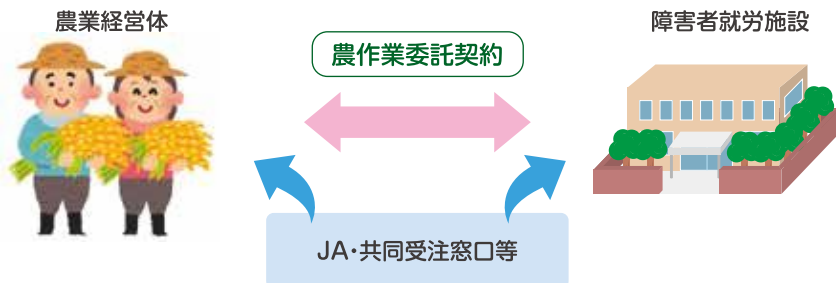


農作業体験マッチング(枝豆)

農福連携の形態について

農福連携には大きく2つの形態があり、①農業経営体の農作業を障害者就労施設利用者が行う場合(施設外就労)と、②障害者就労施設が農業参入して、自施設の圃場等で利用者が農作業を行う場合があります。

① 農業経営体と障害者就労施設との農作業受委託(施設外就労)



【ア.農作業体験】

- お近くの地方局地域農業育成室に相談しましょう（P20参照）。
- 共同受注窓口を通して、農業経営体の委託希望作業と受託可能な障害者就労施設とのマッチング支援も可能です。

※共同受注窓口：近隣地域の障害者就労施設で形成したグループの代表として、受注業務の斡旋・仲介を行う事業所のことです。

【イ.作業受委託契約】

- 委託作業の量、内容などから障害者就労施設と協議の上、委託料を設定します。

【体験から契約までの事例：農家A】



中予地方局
地域農業育成室に相談



農作業体験
(枝豆の播種作業)



契約
(最低賃金にて契約)

② 障害者就労施設の農業参入

障害者就労施設



農業経営開始

サービス利用



就労希望の利用者



【ア.営農計画の策定】

- いつ、どこで、何を、どのように生産し、どこで、どのように販売するか、綿密な営農計画を策定しましょう。営農計画の策定にあたっては、お近くの地方局地域農業育成室に相談しましょう（P20参照）。

【作付けから出荷までの事例：障害者就労施設B】



南予地方局
地域農業育成室に相談



ハウスの休閑期を活用して
ネギ栽培を開始



出荷はJAへ
(年間売上実績約100万円)

【イ.注意事項】

- 農地の確保には、農地所有者の合意を得たうえで、農地中間管理事業の活用や、農地法などに基づく権利設定が必要となります。最寄りの市町農業委員会に相談しましょう。

障害者就労施設について

障害者総合支援法に基づいた障害福祉サービスを提供する障害者就労施設には、主に就労継続支援A型と就労継続支援B型があり、令和4年2月時点で就労継続支援A型として75事業所、就労継続支援B型として204事業所が指定されています。

各事業所では、障がい者が地域で自立した生活を送るための基盤として、障がい者の工賃向上に取り組んでおり、両サービスについては対象者や内容が異なります。

名 称	対象者	内 容
就労継続支援A型	就労の機会の提供を通じ、生産活動に係る知識及び能力の向上を図ることにより、雇用契約に基づく就労が可能な障がい者。	通所により、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者について、一般就労への移行に向けた支援。
就労継続支援B型	就労移行支援事業等を利用したが、一般企業等の雇用に結びつかない方や一定の年齢に達している方等で、就労の機会等を通じ、生産活動に係る知識及び能力の向上や維持が期待される障がい者。	通所により、就労や生産機会を提供（雇用契約を結ばない）するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者は、一般就労等への移行に向けた支援。

なお、県内の就労継続支援B型の月額平均工賃は増加しており、全国平均以上となっていますが、県が定める目標工賃（令和2年度における目標工賃は18,000円として設定）の達成には至っていません。

年 度	H28	H29	H30	R元	R2
県内平均	16,260円	16,264円	16,454円	16,517円	16,717円
全国平均	15,295円	15,603円	16,118円	16,369円	15,776円



障がい者受け入れのポイント

障がい者とのコミュニケーションのポイント



(1) 相手目線で対応しましょう

思い込みや押し付けではなく、相手の意思を確認し、同じ高さ目線に合わせて、明るく、丁寧に、わかりやすく対応しましょう。



(2) 障がい特性を理解しましょう

障がいの種類、程度や症状は一人ひとり異なるので、配慮が必要な内容はそれぞれ違います。外見ではわからないことも多いので、どういった配慮が必要かは個別に確認し、職場で共有しましょう。

(3) 特別扱いはしないようにしましょう

障がい者を受け入れている企業インタビューで耳にするのが特別扱いをしないということです。障がいのあるなしにかかわらず、全員が仲間というスタンスが重要です。

施設外就労では、必ず施設支援員が同行しますので、分からないことがある場合は積極的に支援員に相談しましょう。



障がい者と働く職場づくりのポイント



(1) 仕事や職場のルールを明示

安全・衛生管理や秩序・規律維持のために必要なルールは、口頭で伝えるだけでなく、掲示するなどして、いつでも全員が見えるようにします。

(2) 相談がしやすい雰囲気作り

福祉事業所の支援員がいなくても、近くの従業員が日常的に話しかけ、気軽に相談できる雰囲気づくりをしましょう。また、障がい者が気兼ねなく話することができるキーパーソンを作ることも有効です。

(3) トイレの確保

働くうえでトイレの確保は重要です。近隣でトイレを使用できる場所を確保したり、簡易トイレを設置したりして、より働きやすい環境を目指しましょう。



作業の効率化のポイント



(1) 作業工程を細分化

複雑な一連作業は分割し、単純化することで作業指示も容易になります。

農作業の細分化について

複雑な作業でも作業を細分化することで、障がいのある方もない方も働きやすくなります。工程の多い複雑な一連の業務よりも、単純作業を繰り返す業務に高い適性を発揮することがあります。

また、作業指示がしやすくなったり、潜在化している無駄や危険性が明らかになったりすることで作業効率が向上します。

細分化と合わせ、作業を提案する仕組み作りも重要です。県では「JA等と福祉事業所等とのマッチングモデル」作りを推進しており、JA等と連携して作業を細分化し、契約までつながった事例を紹介します。



事例

ブルーベリー

収穫調製作業でも、作業工程は、収穫・選別・出荷箱作り・シール貼りなど様々な作業が発生します。



① 収穫



② 選別



③ 出荷箱作り



④ シール貼り



今回のブルーベリーの実証では、①収穫作業は作業効率が悪かったものの、②選別、③出荷箱作り、④シール貼りでは問題なく作業することができました。この受入農家さんでは、その後施設と契約し障がい者2名に継続してブルーベリーの作業でお手伝いに来てもらいました。

農作業の実例 ①

作業名		ブロッコリーの収穫作業	
作業時期 作業環境		11月～2月 野外作業(トイレなし)	
		作業手順	指導員の注意点
①		真上から見て頂花蕾の大きさを確認する。にぎりこぶしより大きいブロッコリーを選ぶ。	
②		葉を取り除く。	両手を広げたまま、真下に下ろすと葉を取り除きやすい。
③		包丁で茎を根本から切る。	ゆっくりと
④		包丁の長さ(刃渡り)を基準にして茎を切る。かごにブロッコリーを入れる。	手の甲を上にして茎を持つ。頂花蕾をさわらないようにする。
服装・道具		持参するもの：帽子、手袋、長靴 収穫かごや包丁は依頼主が用意する。	
作業実績等		刃物を扱うので最初は心配していたが、しっかり指示を聞き丁寧に作業してもらえた。	

農作業の実例 2

作業名		かんきつ「せとか」の被覆資材「サンテ」はずし	
作業時期 作業環境		2月上旬～中旬	
		作業手順	指導員の注意点
①		手の平に果実を乗せる。果実は傷を付けないように丁寧に扱う。	爪で果実に傷を付けないように注意する（実際の作業は手袋をつけて行う）。
②		サンテの先をつまんでゆっくり引き抜く。	
③		サンテから出てきた果実が裂果していたり、腐敗していたら取り除く。	
④		コンテナの底に新聞紙を敷き、果実を放り投げず、優しく入れる。	あふれるほど入れると果実が潰れてしまうので7～8割程度の容量まで入れる。
⑤		作業に慣れたら、樹上になっている果実のサンテをはずしてみる。	トゲがあるので、十分に注意して作業を行う。
服装・道具		持参するもの：作業服（長袖）、手袋、長靴	
作業実績等		利用者2人一組で1コンテナ3分弱で完了（利用者6人で、50分で33コンテナ完了）。樹上でサンテがついたままの収穫前果実でも試してみた。速度は少し遅くなったが、作業自体は可能であった。トゲには注意が必要。	